

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野( 3/11)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
次世代エネルギー・モビリティ創造特区(豊田市)	正	B 4.0	B 3.7  進捗度 ・スマートハウスの導入数 49%  ・小水力発電システムの整備済数 100%  ・EV・PHV充電インフラ整備済数(累計) 269% 等	B 3.8  規制の特例等 ・HEMSを介したスマートフォンによる遠隔操作 等  財政支援等 ・次世代エネルギー・社会システム実証 等  地域独自の取組 ・豊田市エコファミリー支援補助金(住宅用太陽光発電システム設置費等) 等	+0.25	<p>・一部に遅れがみられる事業があるものの、<u>多くの支援措置(※1)を積極的に活用するなどして、全体としてはおおむね順調に進捗している。</u></p> <p>・<u>評価指標が多すぎて簡略化が必要(※2)</u>と思われる。また、個別の取組みに加えて分野横断的な取組みも期待したい。</p> <p>※1:国の支援に係る事業として、①次世代エネルギー・社会システム実証、②エネルギー管理システム導入促進事業、③産学イノベーション加速事業、④社会資本整備総合交付金、⑤革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業が行われている。</p> <p>※2:4つの評価指標(再生可能エネルギーの地産地消率の向上、モビリティの活用によるCO2の削減、雇用の拡大、市民満足度の向上)に対して、13の数値目標(例:スマートハウスの導入数、次世代自動車の導入済台数(PHV等)、有効求人倍率、住みよいまちだと思ふ市民の割合(市民意識調査)等)が設定されている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

\*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 \*2)「Ⅲについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。